プラットフォーム名：福井県産学官連携プラットフォーム

様式３）達成目標・活動指標等（おおむね１０頁以内）※計画策定から１年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入

課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
①県内大学進学者の確保	自県進学率の維持 （県内大学および短大への進学者／大学および短大への進学者） ２０２３年度目標　４０．０％	（取組１） 大手予備校講師等が高校生および保護者向けに県内大学進学の魅力を解説する進学アドバイス講座を開催	（取組１の活動指標） 進学アドバイス講座の開催 ：１回以上/年	（取組１の活動実績） コロナ禍により、令和３年度前期に、一部大学において大手予備校講師による進学講座を実施を開催。	B 新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら可能な範囲内で実施。
		（取組２） 県内高校生の県内大学志願動向を分析し、高大接続対策に反映	（取組２の活動指標） データの分析・検討会の開催 ：１回以上/年	（取組２の活動実績） 入学者確保部会を中心に、県内高校生における大学進学動向（令和３年４月入学）、県内高校教員との情報交換会の結果を分析し、プラットフォーム内で情報を共有した。プラットフォームを構成する大学の進学情報を掲載した高校生向けのパンフレットを刊行。	A 県内高校生の県内・県外の大学進学動向が確認できた。今後この結果を踏まえ、県内高校生の高大接続対策を検討する。
		（取組３） 高大連携接続教育研究会による高校生への開放講義や模擬講義の開催	（取組３の活動指標） 開放講義や模擬講義の開催 ：２０回以上/年	（取組３の活動実績） コロナ禍により、活動指標で標榜する回数は達成できなかったが、高校や高校生への開放講義や模擬講義の開催した（１７回）。	B 次年度は実施時期を関係機関と調整し、前年度実績を超える開催を目指す。
②県内高等教育機関の教育内容の充実および交流の拡大	大学連携センターの利用人数 ２０２３年度目標 １２，０００人	（取組１） 福井県の特長的な自然と環境、産業と経済、地域と社会の各分野について講義を共同で開講することにより、幅広い科目の履修機会を学生に提供する。これらの講義は県内すべての高等教育機関のサテライトキャンパス“大学連携センター　Ｆスクエア”において開講する。	（取組１の活動指標） 単位互換による科目の開講数 ：３０単位以上/年	（取組１の活動実績） コロナ禍が続き、連携センター（Ｆスクエア）でのプラットフォーム内の高等教育機関を対象とする単位互換による対面授業について、前期４科目、後期９科目の開講でのべ３０１名が受講。オンラインは前後期で１９科目のべ８１１名が受講。	A コロナ禍であるが、県内大学等が連携して、単位互換による授業科目を開講することができた。

プラットフォーム名：福井県産学官連携プラットフォーム

様式３）達成目標・活動指標等（おおむね１０頁以内） ※計画策定から１年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入

課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
		（取組２） 大学の垣根を越えた交流会の開催など、大学連携センターの共同活用 （活用例） ・大学生等と留学生、県内高校生が英語を通じて国際交流に親しむイベント（…①） ・県内企業の経営者や若手社員と大学生等との交流会（…②） ・地域団体と大学生等とのワークショップ（…③）	（取組２の活動指標） 大学生等が交流できるイベントの開催：２０回以上/年	（取組２の活動実績） コロナ禍により、大学連携センターにて大学生等が交流できるイベントを実施 ①…２テーマ２回 ②…３テーマ３６回 ③…２テーマ６回 計：７テーマ４０回	A 大学連携センターを共同活用し、活用例に掲げる交流イベントを開催することができた。
③教員の教育力向上および事務職員の管理運営等の資質向上	共同ＦＤ･ＳＤ研修会への参加者 ２０２３年度目標　４００人	（取組１） 県内大学等が共同でＦＤ・ＳＤ研修会を開催	（取組１の活動指標） 研修会の開催：４回以上/年 初年度から５０名ずつ増加	（取組１の活動実績） コロナ禍により、共同でのＦＤ・ＳＤ研修会について対面での実施は困難であったが、２０２１年１０月に、オンラインにて、各大学で取り組むオンライン事業の事例紹介や効果的な手法について議論する研修会を１回実施。	C 新型コロナウイルス感染症の影響により、回数の達成には至らなかったが、時代に即した内容で効果的に研修会を開催することができた。
		（取組２） 共同ＩＲの実施 （活動例）学生意識調査アンケート 学生の学びや成長に対する意識とその変化を捉え、学生理解や教育方針の決定、カリキュラム設計等に役立てるため学生意識調査を実施	（取組２の活動指標） アンケートの実施：１回/年	（取組２の活動実績） 学生意識調査アンケートは実施せず県内高校の進路実績、学校基本調査における情報をもとに、県内大学と産業界との情報交換会にてデータ共有した。またプラットフォームの関連部会においても県内進学者確保のための議論を高校教員と大学を交えて実施した。	C プラットフォーム間において、様々なデータを用いて、分析や検討を行った。学生意識調査など、直接的な意見の吸い上げの機会や、調査結果の分析については実施方法について検討を行う。

プラットフォーム名：福井県産学官連携プラットフォーム

様式３）達成目標・活動指標等（おおむね１０頁以内）※計画策定から１年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
④県内大学連携による県内の課題解決	共同研究の実施件数 ２０２３年度目標　５件	（取組１） 県内大学等や研究機関が連携して地域貢献に関する研究を実施	（取組１の活動指標） 共同研究の実施件数 ：初年度から１件ずつ増加	（取組１の活動実績）（４件） ・福井県・福井工業大学・ホリタ文具「文具POSデータの分析研究」 ・大野市・福井工業大学「六呂師高原における星空観光の創出」 ・坂井市・福井工業大学「東尋坊空間形成調査研究」 ・福井市・福井工業大学「新幹線並行在来線新駅と私鉄（えちぜん鉄道）に関する考察」　など	A それぞれの課題研究テーマで三者による研究を実施できた。今後も地域貢献に関する研究テーマを検討しながら実施していく。
	県内企業等へのインターンシップ参加者数 ２０２３年度目標　４００人	（取組２） 県内大学等と産業界、県が共同企画した県内企業等でのインターンシップを実施	（取組２の活動指標） 県内企業等でのインターンシップ参加者数 ：初年度から２５名ずつ増加	（取組２の活動実績） 県内大学等と産業界（福井県経営者協会）、県が連携して実施するインターンシップに、県内外の学生４４１名が参加した。	A 三者の連携により、目標の人数の参加・実施があった。
	産業特性に合った人材育成プログラムの実施数 ２０２３年度目標　５０件	（取組３） 本県の産業特性に合った人材育成教育プログラムの開発	（取組３の活動指標） 教育プログラムの実践数 ：初年度から１０件ずつ増	（取組３の活動実績） 地域人材育成事業において、福井大学・福井工業大学・若狭湾エネルギー研究センター・関西電力（美浜事業所）との連携による原子力コンソーシアム人材育成事業を実施。 コロナ禍で多くのプログラムが見送り。	D プログラムの開発及び実施をしたが、目標の件数に至っていない。今後事業内容の見直しを含め、プログラムを検討する。
	県民対象の共同公開講座への参加者数 ２０２３年度目標　１００人	（取組４） 県内大学等が大学連携センター等において共同で公開講座を開催	（取組４の活動指標） 共同公開講座の講座数 ：４講座以上/年	（取組４の活動実績） 各大学の実施状況を確認し検討を進めたが、コロナ禍により、目標とする件数の共同での公開講座は実施できなかった。	D 当初の目標までには至っていない。今後企画の内容を検討する。

プラットフォーム名：福井県産学官連携プラットフォーム

様式３）達成目標・活動指標等（おおむね１０頁以内） ※計画策定から１年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入

課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
④県内大学連携による県内の課題解決	社会人の受入れ体制の構築 ２０２３年度目標 ３件　２０講座	（取組５） リカレント教育を促進するため、県内大学等が連携して社会人の受入れ体制の検討会を開催	（取組５の活動指標） 検討会の開催 ：１回以上/年	（取組５の活動実績） 令和３年度、福井大学において、県内高等教育機関の教員が社会人を対象に実施。	A 社会人の教育に対しての具体的な内容を検討しただけにとどまる。
	連携事業の構築	（取組６） 産業界と県内大学等との連携強化のための検討会を開催	（取組６の活動指標） 検討会の開催数 ：１回以上/年	（取組６の活動実績） ふくい未来協働プラットフォームの発展に伴い、自治体、経済団体、医師会等との意見交換を対面にて実施した。 令和４年１～３月に実施。	A 経済団体と意見交換の実施。ふくい未来共同プラットフォームに多くの経済団体が追加され、さらに連携の強化をもくろむ。